

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム はごろも

作成日: 平成 21年 10月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について職員全員の共通理解に至っていない。 ・身体拘束について学び、身体拘束をしないケアの実践に努める。 ・研修会に参加したことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場になり、言葉使いに気をつける。 ・職員間で意識付けを行い統一したケアに努める。 ・研修会への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけの際には、優しく行動を促すようにしているか?、命令形になっていないか?職員一人ひとりが意識して行う。 ・何か気になることがある時には、スタッフ会議等で随時話し合い、統一したケアにつなげる。 ・研修での資料等を活用した正しい知識を得、理解を深める。 	<p>1 か月</p> <p>1 か月</p> <p>12 か月</p>
2	2	<p>行事ある毎に年々地域の方々の交流が増えてきているが、今後も開かれた施設づくりに努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方々との交流を図っていきたい。 ・気軽に訪問されるような施設を目指したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りや行事、散髪、散歩などにより今まで通り地域の方々と触れ合う機会を大切にする。 ・施設での行事や情報を地域へ発信し、交流できる機会を設ける。 	<p>12 か月</p>
3	36	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のプライバシーに配慮した対応を心がけてはいたが、反省する点も多い。 ・一人ひとりの尊重とプライバシーを意識しながらの対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場になって考え、対応方法を振り返る機会を設ける。 ・人生の先輩として、日々の馴れにそぐわないよう心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレなどの声掛けは、周囲に聞こえる位の大きな声では行わない。(本人のみに聞こえるように)。 ・自分だったら、このような対応はどうだろう?と振り返り検証してみる。 	<p>毎日</p>
4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に関して、年に1回は職員全員での振り返りや見直しの必要性がある。 ・利用者の状態変化や環境変化に合わせて、現状に即した理念の構築が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状に即した理念の共有。 ・利用者の視点からもう一度よく考えてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で理念に関しての話し合いの場を設ける。 ・処遇に関しての迷いや悩みが生じた場合、その都度話し合う機会を設ける。 	<p>6 か月</p>
5	35	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手宮城内陸地震で被災したが、未だに地震マニュアルができていない。 ・最低限度の備蓄をしておく必要がある。 	<p>地震災害用のマニュアルを作成し、迅速な行動対応できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食物の備蓄 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震被災用のマニュアル作成に向けての話し合いの機会を設ける。 ・他事業所から情報収集を行い活用する。 ・火災同様に目のつく箇所へ災害用マニュアルも掲示する。 ・何をどの程度必要かを検討し合い、備蓄する。 	<p>12 か月</p> <p>3 か月</p>